



地域社会への貢献

地域社会の一員であることを自覚し、グローバルかつローカルに世界各地で社会貢献活動に積極的に取り組んでいきます。

関連するSDGs



GLOBAL MESSAGE



コミュニティと社会全体に対する社会的責任

住友電装グループの一員として、事業活動を通じて地域社会に貢献できるよう努めています。地域に対して何ができるかを考え、年初の計画立案が活動の基本です。2018年度は学校へ給食の支給・食物栽培指導、インターンシップの場の提供などを行いました。また台風での洪水被害があった際、全従業員へ救援物資を配付しました。

活動はすべて当社が拠点を置く工業団地の担当と協業で行っており、信頼関係の向上にもつながっていると感じます。今後もCSR活動を通して地域社会を支えるだけでなく、従業員とその家族、コミュニティの生活環境向上にも貢献していきます。

Sumi Philippines Wiring Systems Corporation[フィリピン] | 人事総務部 | 副社長補佐 | ザリーナ・L・ラパズ

基本的な考え方

住友電装グループは、国内のみならず海外にも広く事業展開をしています。私たちは、地球上の人をはじめとするあらゆる生命体が共存共栄する世界と、それを支える地球環境全体を地球社会と認識し、当社グループのグローバル事業を成功させ、自らが繁栄することを通じてこの地球社会に貢献していきます。社会の一員であることを自覚し、企業市民として地域社会の発展への寄与、社会貢献活動などに積極的に取り組んでいきます。

社会貢献活動の推進

住友電装グループは、社員が自らその居住する地域の社会課題を見つけるなどして、それぞれの地域で積極的に社会に参画することを広く呼び掛けています。当社は32の国と地域に進出しており、グローバルで雇用している従業員は22万人を数えます。全従業員が仕事(ワーク)、余暇(ライフ)に加え、社会(ソーシャル)という視点を追加して地域社会で貢献し、それぞれの地域から評価される姿をめざしたいと考えています。

当社グループの社会貢献活動の活動報告や情報交換の場として住友電装グループ報に情報公開しているほか、社内イントラネットを通じて当社グループが支援する女子ラグビーチーム「PEARLS(パールズ)」の情報なども発信しています。



グループ報で情報発信

社会貢献活動の実績

地域に根ざした事業活動を行う当社グループでは、本社のある三重県内のほか、事業所がある各地域において、さまざまな社会貢献活動を実施しています。

2018年度も引き続き障がい者スポーツの普及や地域清掃活動、福祉車両の無償貸与といった社会貢献活動を実施しました。



当社が費用負担して無償貸与している福祉車両



住友電装本社内での障がい者支援事業所によるパンの出張販売



学童軟式野球大会の開催



障がい者スポーツ「ボッチャ」の普及・支援

取り組み事例

国内

都市鉱山からつくる! みんなのメダルプロジェクト

SWWS東日本は岩手県一関市が参加する「都市鉱山からつくる！みんなのプロジェクト」に協力するため、一関地区（本社・一関工場・花泉物流センター）の従業員が不要になった個人の携帯電話やノートパソコン、ゲーム機などの小型家電回収ボックスを社内を設置しました。

同プロジェクトは、公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会が大会の入賞メダルを不要になった小型家電に含まれるリサイクル金属から製作する取り組みです。2018年12月から約2カ月間で目標の100kgを回収することができ、2019年2月、当社より一関市役所に贈呈しました。

市からは「雇用、地域経済の面でもリードしていただいている。全社を挙げての取り組みに感謝している」とのお礼をいただきました。



一関市への贈呈式の様子

海外

孤児学院への給食提供

SEAPS VIETNAM Co., Ltd.（ベトナム、以下SEAPS-V）があるハノイ市ハドン区の「ハカウ孤児学院」には50人の子どもたちが通っており、経済面だけでなく、情緒面でも恵まれない状態にあります。

SEAPS-Vでは2018年度より同学院を訪問し、給食を作って提供しています。初回は従業員13人が参加し、子どもたちと一緒にゲームをしたり、プレゼントを贈るなど交流を深めました。

子どもたちも喜びを隠しきれない様子で、施設管理者からも感謝の言葉をいただきました。

創意工夫を凝らした活動をすることがSEAPS-Vの考えであり、今後は年1～2回のペースで実施することで従業員がこうした活動に積極的に参加することを期待しています。



給食やゲームなどで
交流を深めた

海外

近隣小学校への教材寄贈

PT. Sumi Indo Wiring Systems (SIWS、インドネシア) が所在するコタ・ブキット・インダ (KBI) 工業団地に所属する日系企業約20社で毎年2回、近隣8小学校に教材や備品の無償提供を行っています。SIWSもこの活動に参加しています。

活動は2000年ごろから継続しており、毎回各学校に必要なものをKBI工業団地の運営会社内にある事務局がヒアリングした上で、可能な限り希望に沿うものを提供しています。備品を届ける日は各社から数名が参加し、子どもたちと一緒に清掃活動なども行います。各校からは大変喜ばれており、毎回心待ちにされています。



教科書やボールなどの
教材・備品を寄贈

海外

小学校に音楽室を設立

惠州住潤汽車部品有限公司（中国）（以下、SEWS-CHZ）の工会委員会は、西子公益協会と連携して2018年5月、三棟鎮養志小学校に音楽室を設立しました。

同校は周辺農村部のための教師区施設でしたが、地理的条件などから施設整備が大幅に遅れていました。そのため、新しく赴任した校長先生が、児童の学力向上や情操教育の充実などを目指して地域の有志企業への支援を求めています。

これを受け、当社は子ども達が音楽の学習を通じて、もっと勉強に興味を持ってもらえることを願い、音楽室を寄贈しました。

SEWS-CHZではこれからも子どもたちが意欲を持って学習できる環境の整備に注力していきます。



西子公益協会と
ともに整備した
三棟鎮養志小学校の
音楽室